

医療廃棄物容器ホルダーSK-F アーム

取扱説明書



安全に関するご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前に下記「注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は大切に保管してください。

注意

この製品の管理される方を定め、下記の相手に対し、各々の注意内容がもれなく伝達されるよう、この説明書を取扱ってください。
この製品は屋内用です。屋外での使用は、さび、劣化等の原因となりますので、お避けください。
製品の用途以外には使用しないでください。

＜設置者へのご注意＞

- 水平な床面以外には設置したり放置しないでください。製品が転倒し、ケガや床面の傷の発生、本体のゆがみやへこみの原因になります。
(アジャスター付きの場合は、アジャスターで水平になるよう調節してください。)
- 滑り易い床面(油が付着した場所等)には設置しないでください。製品が転倒し、ケガや床面の傷の発生、本体のゆがみやへこみの原因になります。

＜保守者へのご注意＞

- 製品の分解、改造は絶対にしないでください。事故の原因になります。
- 使用中にボルトやネジの緩みが生じましたら、締め直してください。
事故や本体変形、破損、転倒等の原因になります。
- 異常(劣化によるヒビ、割れなど)を発見した場合は、使用を中止してください。
事故の原因になります。
- 可動部の隙間に手を入れないでください。ケガをする恐れがあります。

＜利用者へのご注意＞

- 手を開閉蓋周囲の隙間に入れないでください。ケガをする恐れがあります。
- 内容物の出し入れの際、手等をはさんだり、傷つけない様、ご注意ください。
- 製品の上に物を載せたり、人が乗ったり、体重をかけたりしないでください。
製品が転倒し、ケガをする恐れがあります。
- 火気類は投入しないでください。火災の原因になります。
- 火気の近くで使用しないでください。火災の原因になります。
- 製品を引きずって移動しないでください。床面の傷発生や、本体破損の恐れがあります。
- 乱暴な取り扱いには避けてください。故障、破損、事故の原因になる恐れがあります。
- 専用容器には、指定された物以外、投入しないでください。

■お手入れ方法

(金属塗装)	普段のお手入れ：柔らかい布で拭きしてください。 汚れた時：家具用クリーナーで拭き取ってください。
(メッキ・ステンレス)	普段のお手入れ：柔らかい布で拭きしてください。 汚れた時：メッキ、ステンレス専用クリーナーで拭き取ってください。 錆：錆取専用クリーナーで拭き取った後、錆止めを塗ってください。
(樹脂部分)	普段のお手入れ：中性洗剤で拭きしてください。 汚れた時：水を流しながら柔らかいブラシで汚れを除いてください。

※ただし、汚れ具合により、期待通りの結果が得られない場合もあります。

■破棄される場合

破棄される場合は、専門の業者又は公的機関に、ご相談ください。

医療廃棄物容器ホルダーSK-F アーム ご使用方法

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

各部名称

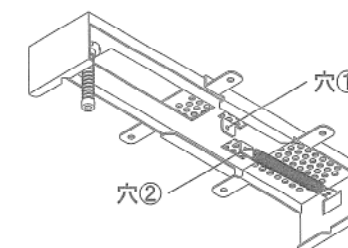


使用方法

1. ばねの調整

蓋のサイズに合わせて、ばねの位置を調整します。
ばねのフック先端で怪我をする恐れがありますので、調整の際は十分ご注意ください。

- 奥行きが310mm以下の蓋：
ばねのフックを穴①に引っ掛けてください。
- 奥行きが310mmより大きい蓋：
ばねのフックを穴②に引っ掛けてください。



2. 蓋の取り付け・取り外し方法

- 取り付け方法：
先に蓋の後側を引っ掛け、次に前パーツを手前に引いて、前側を引っ掛けてください。(図1)
- 取り外し方法：
蓋を手で保持した状態で、つまみを上に持ち上げながら手前に引き、蓋を外してください。(図2)

図1: 蓋の取り付け手順

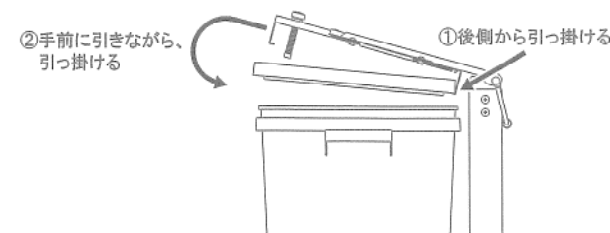
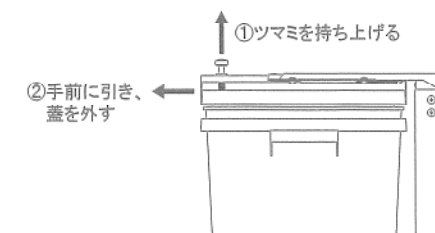


図2: 蓋の取り外し手順

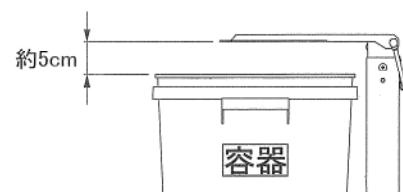


ユニットの取り付け手順

※ねじの締め付けにはプラスドライバーをご使用ください。

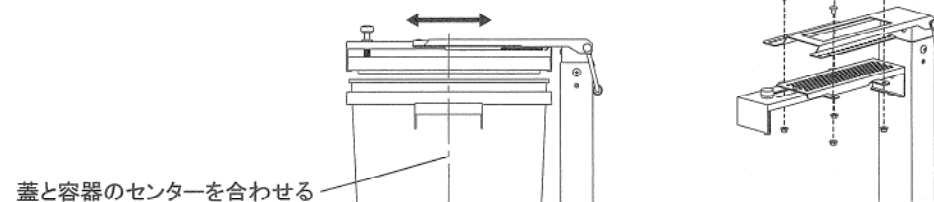
1. 支柱の仮止め、左右ガイド・ペダルの調整

1. 左右ガイド・ペダルの調整方法は本体付属の取扱説明書 [サイズ変更手順1～4]をご参照ください。
2. 支柱を仮止めする際は、蓋取付板が容器より5cmほど上になるように支柱の高さを調整してください。



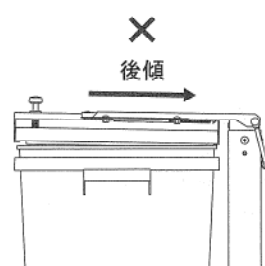
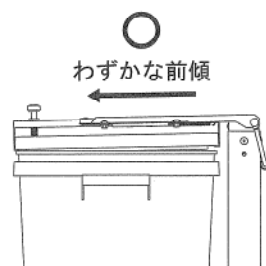
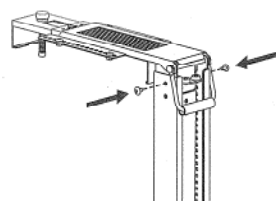
2. ユニットの取り付け

横から見て、蓋と容器のセンターが合うようにユニットの前後位置を調整し、付属のネジとナット(4本)で蓋を仮止めしてください。



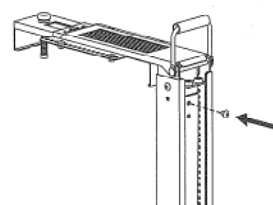
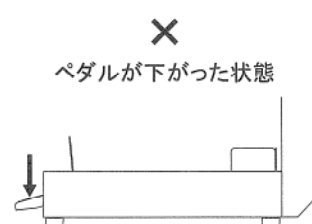
3. 支柱の調整

1. 支柱を仮止めしているネジを外します。
2. 容器をセットした状態で、蓋が水平、もしくは若干の前傾となるように支柱の高さを調整し、ネジ(左右1本ずつ)で仮止めしてください。



4. 押上棒の調整

ペダルを持ち上げた状態で、押上棒の内側と外側の部品の重なり合う穴を、ネジ(1本)で仮止めしてください。



5. 動作の確認

1. ゆっくりとペダルを踏み込み、蓋の動作や位置を確認してください。問題がある場合は前の項目に戻り、再度、調整を行ってください。(図1)
2. 残っているネジ(3本)と、支柱・押上棒・ユニットを仮止めしているネジ(7本)を締め付けて固定してください。(図2)

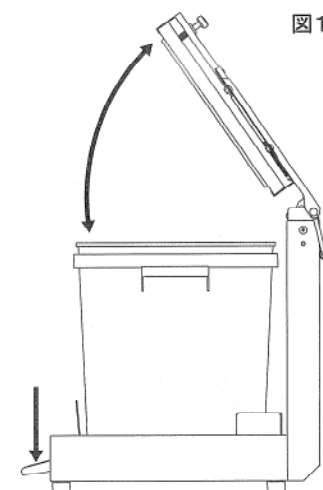


図1

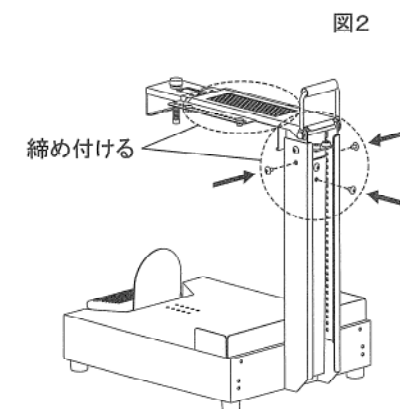


図2

6. 完成

全てのネジで締め忘れがないことを確認して、完成です。
下記の注意事項をご確認いただき、正しく安全にお使い下さい。

- 器具の破損や、容器のズレ、廃棄物の飛散を防ぐため、ペダルはゆっくりと踏んでください。
- 蓋は最適な角度で止まるように設定しております。蓋が開ききりましたら、それ以上踏み込むことはお止めください。
- 本体を移動させる場合は取手を持ち、本体が水平な状態で移動してください。
- 感染症予防のため、ご使用の際はゴム手袋等の着用をお勧めします。
- 蓋が完全に開いたのを確認してから、ごみを投入してください。開閉動作中は蓋に手を近づけないようご注意ください。手を挟む等、怪我の原因になることがあります。

